



## つぼみ保育園年報 第27号

2024年(令和6年)8月21日 発行

### 発行/編集

社会福祉法人 輔仁会  
つぼみ保育園

〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24  
http://www.hojinkai.ed.jp/tsubomi/



## 輔仁会は「還暦」を迎えます

理事長 大浦 純平 (元:さわらび保育園 保父 / 前:つぼみ保育園 園長)

当法人は昭和40年に設立され、来年度で満60年を迎えます。そして運営する保育園はつぼみが60歳、さわらびが55歳、新宮つぼみが20歳になります。昭和38年に福岡市は保育施設として市が用地を準備して保育園開設希望者を募る、いわゆる「福岡方式」を打ち出しました。それに応募した私の母は市の委託を受け、法人を設立し「平早」に「つぼみ保育園」を開園しました。次に、昭和45年に「元田」にて開園を委託され、別法人を設立し「さわらび保育園」を開園しました。私は昭和52年に会社を辞して保育士資格を取得し、54年保父としてさわらび保育園に就職しました。四年間保父としてつぼみ保育園の園長に就任しました。

その後、平成15年に「ぼん」と「さわらび」の法人を合併し「社会福祉法人 輔仁会」が新たにスタートし私が理事長を拝命することとなりました。平成17年には新宮町の公募に手を上げ、難関を突破し「新宮つぼみ保育園」を開園しました。

私は法人に入職し46年が過ぎました。これまで、多くの優秀な職員の皆様を支えられ、良い保育が継続できてきたことに心から感謝いたします。また、今年二月には後期高齢者となりました。もうそろそろ年貢を納めようという気持ちです。後進に確りと道筋をつけて輔仁会からの卒業を準備してまいります。後少し宜しくお願い致します。



## 宜しくお願致します

副次長 大浦 哲平

いきなると考えています。(先月から、各園の各クラスを回りながら、保育補助として先生方のお手伝いをさせて頂いていただき、実際の保育に直接触れる機会をいただいています。保育士資格についても現在勉強中です。)

## 世界の子どもたちが安心してすごせますよう

統括次長 大浦まゆみ (元:つぼみ保育園 事務主任 / 前:新宮つぼみ保育園 園長)



世界では戦禍がやまず子どもをはじめ人々が被害を受ける現実があります。この世に生まれたばかりの子どもは、これから生きるために、ただ親の乳を求め、親の懐で安心して眠りたいだけなのに、自分の周りの環境が不安と恐怖に満ちた世界だとしたら、いったいどのように育つでしょうか。保育園は、もう少し成長したお父さんをお預かりしますが、幼児期にはやはり「安心して過ごす」ということがとても大切な

言葉で関わり「あなたのあなただけの言葉を信じて、成長して大丈夫です。怒りや不満、失望、からかいなどの感情は決して子どもに向けてはなりません。輔仁会の三園では、様々な職種で働いている職員が皆優しく言葉をかけ、子どもたちを見守っています。この温かさの中で子どもたちが成長しますように、また、世界中に平和が訪れますように祈ります。

## やれる時に、やれる人が、 やれることをやろう

2024年度 父母の会 会長 山中 隼也



平素より父母の会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年に引き続き、今年度も父母の会会長を務めさせていただくことになりました山中隼也です。二年目の会長職となりますが、これまでのOB・OGの皆様素晴らしい軌跡を引き継いでいけるよう一層の精進を重ね、子どもたちや保育園のために邁進して参りますので、よろしくお願いたします。

さて、今年度も『**やれるときに、やれる人が、やれることをやろう**』をモットーに、父母の会活動を行っていきたく思います。新型コロナウイルスも5類となり、各種制限もほとんどなくなっておりますが、ウイルスが完全になくなってはおりませんので、感染状況を見極めながら各種行事に取り組んでいけたらいいと思っております。また、今年のボランティア清掃では、昨年に引き続き、園長先生のご厚意で普段子どもたちが食べている給食を食べさせていただき、子どもたちが普段とても美味しい給食を毎日食べていること

を知ることができました。さらに、青組、白組、赤組と各組の保護者に別れて給食をとらせていただき、保護者間の交流をはかることができ、貴重な機会となりました。これからも引き続き、健康と安全管理を第一に考え、子どもたちが楽しくのびのび過ごせるよう、父母の会の皆様でつぼみ保育園をバックアップしていきたいと思っております。

先生方におかれましては、いつも子どもたちや私たち保護者一人ひとりと真剣に関わってくださり本当にありがとうございます。子どもたちが楽しく園に通い、私たちが安心して仕事が出来ると先生方のお陰です。心より感謝申し上げます。

これから、運動会、秋祭り、音楽発表会とたくさんの行事が続いていきます。みなさん体調には十分に気を付けて、お子さん、先生方との楽しい思い出をたくさん作って行けたらいいと考えておりますので今後ともよろしくお願い致します。

## 「一年生の集い」

園長 小島千枝



つぼみ保育園では、毎年約五十名の園児を小学校へ送り出しています。卒園児の多くは、近くにある千早早・千早名島小学校の三校に入學しますが、多い時は十五校に分かれることもあり、卒園後に会う機会のない子もいます。各小学校が開催する「保幼小連絡会」が年に一〜二回ありますが、全校に行くことはできず、学校の運動会も手分けして見に行きますが全部を回ることは困難です。卒園した子ども達も小学生になつてどうしているのか、学校に慣れてくると、友達にはあんなに楽しかったのか等々、職員たちは案じています。話がしたりするしかありません。

突然の誘いにも関わらず殆どの一年生が参加してくれました。懐かしい顔が集い、職員も交代で遊びに来て、遊戯室は大賑わいでした。在園中に遊んでいたラQやカラフル、ゲーム、折り紙、まんだら塗り絵などを用意しておいたので早速夢中になつて遊び始めた一年生、久しぶりに会う友だちや職員と楽しそうに小学校や家族の話をする一年生、中には嬉しさのあまり興奮が抑えられずに走り回つてばかりの一年生もいました。楽しい時間はあっという間に過ぎて、おやつにつぼみ名物の「チーズ入りフルーツヨーグルト」を食べ、解散となりました。保育園と比べて、小学校は楽しいですか。先生は優しいですか。給食は美味しいですか。という質問への答えは様々でしたが、元気に答える子ども達を見て少し安心しました。

楽しかった。また来るね。元気でねとそれぞれの生活に戻つた一年生。みんな大切な「つぼみ」で育ち、保育園と子ども達や保護者の方、子ども同士、保護者の方同士、これからも繋がりが続くために「一年生の集い」は大切な行事になりそうです。

